下米田地区の魅力を発信する情報誌

よなだより

Vol.10
令和３年１月発行
FREE 無料

特集
よなだの農家さん

「よなだより」は下米田地区まちづくり協議会が作成しています。
まちづくり協議会では、下米田を楽しみ、愛し、守る仲間の発掘として
「仮面ヨナダー」の登録制度をしています。
登録をした方には、様々なイベント情報のお知らせなどを行っています。
ぜひ、仮面ヨナダーになって一緒によなだのまちづくりを考えましょう。

問い合わせ先 下米田連絡所 ☎25-2714 FAX:24-0106 E-mail:yoneda-ren@city.minokamo.lg.jp

まちづくり活動に関わってくれる委員も大募集!

発行：下米田地区まちづくり協議会

特集

よなだの農家さん

よなだの美しい農村風景の中
顔が見えるところで
こだわりを持って
安全で美味しい農作物を
作っている農家さんたち
を紹介します

よなだの農家さん No.1

神田　政美さん

下米田町則光

Q 農業をはじめたきっかけは？

加茂農林高校に通っていました。高校で習ったことを経験にハウスを始めました。

Q どんな農作物を育てていますか？

キュウリとトマト、パプリカを育てています。キュウリとトマトは約50年目で、パプリカは6年前から始めました。

Q どこに卸していますか？

可茂中央市場やとれった広場です。

Q 育てる上でのこだわりは？

美味しい野菜を作るため、高価な肥料も惜しまず使用しています。（実際に肥料を見せてもらい、値段聞いてビックリ！）
さらに、肥料の配合にもこだわっています。

Q 農業の楽しさは？

野菜が思うように良く出来ると嬉しいし、自分の野菜を喜んで食べてくれる人がいるということが嬉しいです。
市場では生産者の名前を記載して販売されているのですが、美味しい野菜を作っていると名前で買ってもらえます。

Q 農業の大変さは？

災害が毎年心配です。
失敗して泣いたこともあります。
夏場はハウス内は約50℃。「暑いな～」ではすみません。
行政の補助金は長い目で進めて欲しいです。
一時的な補助金だとみんなが困るハメになってしまいます。
後継者がいないことにも困っています。

Q おすすめの食べ方は？

採れたてをその場でかじるのが最高です。

Q これから挑戦したいことは？

マンゴーの栽培を始めたいと思っています。
温暖化で、この地域でも栽培出来るようになってきたのです。

Q 農業をはじめたい方へ

熱意のある方がいれば、助言ができます。
聞いてくだされば教えてあげられるので、困ったことがあればぜひ連絡をください。

整然として美しいキュウリ畑→

よなだの農家さんNo.2

日比野　和彦さん

下米田町今

Q農業をはじめたきっかけは？

もともと親が農業をやっていて抵抗がありませんでした。農業を始める前は東京でシステムエンジニアをやっていましたが、サラリーマンの不安定さを感じて、10年前に下米田に戻ってきました。

Qどんな農作物を育てていますか？

イチゴとサツマイモを育てています。
育てているイチゴの品種は、「濃姫」「美濃姫」「紅ほっぺ」「おいCベリー」です。

Qどこに卸していますか？

農協に出荷し、「とれった広場」や近隣のバローなどの店舗で販売されています。名前を入れて売っているので、見つけたらぜひ買ってみてください。

Q育てる上でのこだわりは？

イチゴは、土に苗を植えて栽培する「土耕栽培」と、腰高の位置で栽培する「高設栽培」の2つの方法で育てています。
「土耕栽培」は作業にたいへんな労力がかかり、収穫量も限られますが、土で作る方が安定して美味しいイチゴを作ることができるので続けていきたいです。
「高設栽培」でも、味にこだわって、手間がかかる方法で管理しています。

Q農業の楽しさは？

イチゴの実が色づきはじめた瞬間。
イチゴは8月半ばの暑い時期から下準備をはじめますが、収穫できるようになるのが11月末頃です。長い間苦労して準備してきたことが形になる瞬間です。
また、若手農家仲間との集まりも楽しく、勉強になります。

Q農業の大変さは？

災害が大変です。ハウスのビニールが飛んでいってしまったり、山から大量の水が流れてくることもあります。

Qこれから挑戦したいことは？

最近、川辺町でも栽培をはじめました。
規模が大きくなって従業員も雇っているので、経営的な部分の勉強をしたいと思っています。
また、イチゴは冬から春にかけての収穫なので、夏場の仕事も作ることも考えていきたいです。

どちらもこだわりの栽培方法！

よなだの農家さんNo.3
NPO法人フレッシュマザーズ代表
渡辺　秀子さん
下米田町西脇

Q農業をはじめたきっかけは？

自分たちで作った野菜をみんなに食べてもらいたいと思って農業をはじめました。
下米田はちょっと田舎ですが、街へ行くにも近い。自然豊かで、農業に最適な場所だと思います。
また、障害がある人が地域の中で生きていく場所を提供することはできないだろうかと考え、2012年にNPO法人フレッシュマザーズを立ち上げ、就労継続支援B型事業所「青空ファーム」をはじめました。
自然の中での農作業を通じて機能回復や自主性を育み、気持ちも体も豊かになっていけるよう支援しています。

※就労継続支援B型…障害や難病のある方のうち、年齢や体力などの理由から、企業等で雇用契約を結んで働くことが困難な方が、軽作業などの就労訓練を行うことができる福祉サービスです。

Qどんな農作物を育てていますか？

季節の野菜をいろんな種類育てています。
また、肉用牛も育てています。過去は乳牛を飼育していました。それが喫茶店MILKの名前の由来です。

Qどこに卸していますか？

JAのとれった広場やぎふ清流里山公園の野菜販売店に卸しています。喫茶店「MILK」の中にも直売所を設けています。

Q育てる上でのこだわりは？

肥料に自家製の牛ふんをいっぱい施して有機野菜を作っています。

Q農業の楽しさは？

たくさんの野菜が元気に育っていくことに喜びを感じています。

Q農業の大変さは？

天候に左右されたり病害虫がついたりすることが大変です。
また、障害がある方にいろいろな農作業を教えることが大変です。

Qおすすめの食べ方は？

ブロッコリーの天ぷらがおすすめです。

Qこれから挑戦したいことは？

地産地消の重要性を地域に発信し、農業の活性化と地域のつながりを守っていきたいと思っています。
また、「青空ファーム」ではこれからも障害者の活躍の場を増やしていきたいと思っています。

青空ファームHP。活動が紹介されています↑

下米田地区まちづくり協議会　活動報告

白山登山道の整備

下米田地区の象徴、米田白山。

牧野側からみた断崖絶壁は下米田地区有数の景観であり、ふもとには白山神社もまつられていて、牧野の方々にも親しみが深い山です。かつては登り口がいくつもあったようですが、今では雑木などでわからなくなっているのがほとんどです。

「牧野側から米田白山に登りたい」、そのお気持ちは以前から耳にしており、地元有志と下米田地区まちづくり協議会は、市農林課と遊歩道整備について協議を重ねてまいりました。その結果、市農林課と岐阜県、可茂森林組合のご協力により、遊歩道整備が進められることになりました。

十月十六日には、市農林課、加茂森林組合、地元有志代表の方による白山神社から登る登山道の現地調査・確認作業を実施しました。

十一月二十三日には、総勢四十七名の方にお集まりいただき、足場になる階段の設置や通過するときに危険な枝をはらう作業などを行っていただきました。二十三日は大変天気が良い日だったので、作業後に頂上から見下ろす下米田の風景はとても美しく見えました。

登山道の整備にあたっては、たくさんの方にご協力いただきありがとうございました。米田白山が、より一層多くの方に愛される場所になりますよう、今後も整備に励みたいと思います。

秋のよなだクリーン大作戦

十一月二十九日、下米田の主要道路でもある可児金山線・さくらの森通りを中心にゴミ拾いを行い、十八名もの方にお集まりいただきました。一時間半の活動時間はあっという間に過ぎ、多くのゴミを回収することができました。

下米田地区まちづくり協議会では、これからもきれいなまちづくりを目指してよなだクリーン大作戦を継続的に開催していきたいと思いますので、ぜひお気軽にご参加ください。

令和2年度になり、新型コロナウイルスの蔓延で町内の様々な行事・イベントが中止となり、下米田地区まちづくり協議会としても活動を行うことが難しい時期が長く続きました。しかし、秋頃からは、感染予防対策を万全にした上で、少しずつ活動を再開し始めているという状況です。

コロナ騒動がいつ終わりを迎えるのか、まだはっきりと先を見通すことは難しいですが、今後も感染拡大状況をみながら、できるところから活動を進めていきたいと思っています。

よねだところどころ

小山観音は、伝若菜御前の所持仏「馬頭観音」を祀った場所

（執筆　水谷敬さん）

若菜御前といわれる人物は、木曽義仲の妾妻とされる。義仲を追って京都へ上る途中、この地で死亡し、その時所持していた護持仏（馬頭観音）が観音島に安置されたものとされる。

現在、若菜御前の墓とされる宝篋印塔（ほうきょういんとう）が、山本の若菜洞にある。

なお、段丘上にある小山寺（しょうさんじ）が観音堂と関係があるように思われるが、時代的に見れば小山寺の方が新しく、馬頭観音は小山寺の本尊ではない。

若菜御前の墓とされる宝篋印塔
（場所：下米田町山本若菜洞）

この馬頭観音のご利益には色々とあるとされる。

①交通安全関係の守護
若菜御前伝承　川港安全

元々人や物資の移動に対する安全祈願が中心であり、平安末期に信州から京都への道中の安全を願って若菜御前が所持していたとされる護持仏による。

②子授け、子育ての守護
島御前伝承

室町時代には、蜂屋の島御前という女性が子供を授かるように観音堂に祈願し、その結果、仁斎という僧侶を生んだことから、この観音様に祈願すれば、子どもが授かるという話が成立したことによる。

③養蚕業の守護

蚕と桑栽培の安寧

江戸期以降は商品作物としての養蚕業の守り神として、近辺の養蚕農家の信仰を獲得した。

左の写真は、かつての観音島。小山からは陸続きの様子がわかる。今渡ダムの完成によりダム湖となり、観音橋がつくられた。

「よねだところどころ」は下米田地区まちづくり協議会HPで連載しています
http://shimoyoneda.com/「よねだの紹介」

よなだのビューポイント写真募集します！

美しい田園風景や季節の花々、歴史や文化が薫る施設など、
下米田を舞台にした素敵な写真を持っている方はいませんか？
皆さんが知っている下米田のとっておきの景色を「よなだより」で紹介させてください。
掲載してもOKな写真がある方は、下米田連絡所までご連絡お願いします。

☎25-2714 FAX:24-0106 E-mail:yoneda-ren@city.minokamo.lg.jp

Vol.10
発行：下米田地区まちづくり協議会　令和３年１月発行
http://shimoyoneda.com/

毎月第３日曜日

ノルディックウォーキングを再開します！

2021
1/17 日
開始９：00
（受付８：40）

コロナ禍ではありますが、ソーシャルディスタンスに配慮し、
楽しい健康づくりのためにノルディックウォーキングを再開します。
毎月第３日曜日の午前９時からよなだのまちを歩きましょう！

【集　合】　下米田連絡所
【コース】　さくらの森公園コース
【参加費】　無料
【持ち物】　マスク、運動に適した服装、飲み物

◎ ポールは無料で貸し出します。
◎ 雨天中止です。
◎ 雨天の場合の開催の判断、２月以降の開催については
下米田連絡所へお問い合わせ下さい。

暗くなると自動点灯

「ペットボタル」づくり講座

2021
1/30 土
①９：00～
②10：30～

ホタルのように、ほんのりとしたあかりの「ペットボタル」。
暗くなると、自動的に明滅します。
この講座では、ペットボタルを２つ製作します。
ひとつはあなたに。
もうひとつは、さくらの森ライトアップ（３月下旬に開催予定）
で通路に設置し、来場者を導きます。

<ペットボタル特徴>
・350mlのペットボトルと同程度の大きさ
・２つのLED電球が暗くなると自動的に点灯
・日中は小型太陽光発電パネルで発電して蓄電池に充電
・台座は米田白山でよくみられる樹木と同じ種類

【ところ】　下米田連絡所
【定　員】　①9:00～　20人　②10:30～　20人（先着順）
【受講料】　100円（当日納付）
【講　師】　山路今日子さん（可茂森林組合）
【内　容】　講師の指導でペットボタルを製作。ペットボタル本体はキットあり。
【持ち物】　マスク、軍手、汚れてもいい服装
【申込み】　下米田連絡所へ直接または電話、ファックス、メールにて受付

【各種イベントのお申込み・お問合せ】
下米田連絡所にて、直接・電話・ファックス・メールにて受け付けています。
☎25-2714　FAX:24-0106　E-mail:yoneda-ren@city.minokamo.lg.jp

＜編集後記＞下米田は美しい農村風景が魅力だと思います。そんな景色を作り、守っているのは地元農家の皆さん。今回は、そんな農家さんについて知りたい、多くの人に知ってもらいたいという思いで特集を組みました。どの方も素敵な想い・こだわりを持って農業に取り組まれています。100年後の未来に今の下米田の景色を残したい。安全で美味しい農作物を食べられるまちであって欲しい。まず私たちができることは、地元農家さんの存在を知ること、そして地元で作られた農作物を積極的に食べることなのかなと思ったりします。（渡邊）